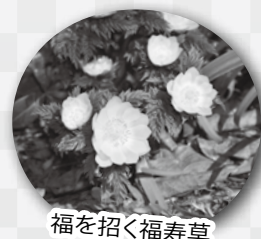




新村の人口・世帯数	令和7年1月1日現在
世帯数	1,342戸
男	1,512人
女	1,605人
合計	3,117人



新年のご挨拶



町会連合会長
大久保 俊介

明けましておめでとうござい
す。日ごろのご支援・ご協力に心よ
り感謝申し上げます。

昨年は元日の能登半島地震に肝を
冷やし、そして異常気象による高
温、豪雨等により動かされた一年で
した。災害に遭われた地域の皆様
には心からお見舞い申し上げます。幸
い私たちの地域は例年のような毎日
を送ることができました。昨年度は、
5類扱いに移行したコロナ禍以降の
各社会活動への取り組みが進んだ一
年でした。5月の町会対抗球技大会
を始め、ものぐさ太郎祭り、防災フ
ェスティバル、文化祭・福祉ひろば祭
り等の各行事が予定したとおりに実
施できました。その他の公民館活動
や町会行事も楽しむことができました



新村保育園
ぞう組さん

た。それぞれの場面で新村の皆さん
が和やかに交流し、コロナ禍によっ
て中断せざるを得なかった「地域の
つながりを深める」日常を取り戻す
ことができました。

今年も新村の皆さんが笑顔でつな
がりを深めていけるような地域づく
りを目指していきたいと思ひます。
どうぞよろしくお願いいたします。

元旦マラソン

新村体協会長 青木 秀行

元旦マラソンが今年で50周年
を迎えました。60人のランナー
が新年のスタートを切り、健康
と絆を深める場として愛されて
きました。これからも地域の活
性と参加者の笑顔を大切に、更
なる発展を目指します。来年も
皆様のご参加をお待ちしていま
す。



清々しい新年のスタート

八束穂

私は寝付きが悪く
とても困ってい
る。自営業を始め
た28歳からだ。睡
眠導入剤を処方し
てもらい40年にな
る。今は就寝時ラ
ジオを小音量で流
しっぱなしにして

いる▼日本原水爆被害者団体協議
会がノーベル平和賞受賞した。深
夜、解説と談話が放送された。広
島・長崎地域の方だけでなく日
本、世界の皆さんに核兵器廃絶を
共有の目的として持つてほしいと
結んでいた▼昨年暮れに長崎を訪
れる機会があった。3度目の訪問
になるが始めて平和公園を訪ね
た。北村西望作の記念像の大きさ
と力強さに驚き、長崎の鐘も写真
に収めてきた▼さて、公園の広場
に何百人もの修学旅行生が体育座
りをしていた。その中の生徒10名
ほどが献花台の前に立ち、平和や
核兵器について代わる代わる大声
で応援団のように発表していた▼
平和教育の一貫で学習してきたの
だろうが、さながら過去の軍事
教練のようにさえみえた、あまり
にも違和感で。静かに原爆被害
者の冥福や平和、核兵器廃絶を
祈ってもらいたいと感じた。遠く
信州からも平和を祈り続けたい。

新村文化財保存会主催 新村歴史探訪『根石編』

11月10日「新村歴史探訪」が開催され、根石地区を9名で巡りました。

梓川の河岸段丘（森口面）上の見晴らしの良い場所に集落があり、山城（砦）を思わせる立地だと長岡壽会長からご教示頂きました。

▼木製2本脚の『火の見梯子』が町内の真ん中にあります。火の見櫓の脚（柱）は通常3本か4本なので、手造り感があり珍しいものになります。

▼『根石由来の石』は島立の立石、山王の二つ立石と一直線になり、条里制の標識だったかも知れません。元禄11年（1698年）の絵地図には根石と記載されているので、この頃には根石という地名は存在していたこととなります。

▼「左八大つま右ハまつもと」と刻んだ『道標』が旧野麦街道沿いに道祖神と共にあり、



根石由来の石を見て

ここから大妻前の渡しへの道は「横道」と呼ばれています。

▼道祖神は現在南向きに設置されていますが、以前は西向きで、波田・奈川方面からの悪病・悪人や災いを遮断する（塞の神）意味合いがあったとのこと。横道は現在の場所から堰をはさんで西側の宅地内を通っていたと思われる丸山盛栄さんからご教示頂きました。

新村堰・和田堰・神林堰が見渡せる場所。大妻に渡して繋がる横道が、根石で旧野麦街道から分かれている。奈川・波田方面から新村への入り口でもあり、交通の要衝であったことがわかりました。

人権啓発視察研修

11月13日に篠ノ井の「児童養護施設 円福寺愛育園」の見学をしました。

愛育園は、初代園長・藤本幸邦氏が終戦直後に上野駅に群れる戦災孤児から3人を円福寺に連れてきたことから始まったそうです。当時戦災孤児は全国に12万人といわれており、初代園長は「全国の寺院が戦災孤児を1人ずつ引き受ければ、たちどころに戦災孤児



志は現在も

秋の彩を楽しむ 小布施バスハイク

11月30日、松本大学ONE TEAMプロジェクトにて小布施バスハイクが開催されました。春に続き2回目の開催となる今回は、葛飾北斎がかつて招かれた小布施を舞台に、北斎の作品と秋の味覚を満喫する旅となりました。

最初に訪れた岩松院では、本堂の天井に描かれた「八方睨み鳳凰図」の大きさと迫力に圧倒されました。どこから見てもこちらを見据える鳳凰の鋭い眼光に、北斎の卓越した技を感じることができました。

続いて、小布施町の中心街へ。昼食は、旬の栗を使った栗ご飯で、秋の味覚を堪能しました。お腹を満たした後は、昔ながらの街並みを散策。趣のある建物が軒を連ねる町並みは、まるでタイムスリップしたかのようでした。



お土産やお菓子を買い求めながら、思い思いの時間を過ごしました。

第10回 ニュースポフェスIN新村

11月24日、芝沢体育館においてニュースポフェスの体験を通して53名が楽しく親睦を深めました。

松本深志高校ダブルダッチ部による体験会のほかに、ボッチャ、段ボールモルック、囲碁ボール、ラダーゲッターなどの競技に挑戦しました。



初めて参加した女性には、「コタツにあたっていたけど、思い切つて来て良かった。」と笑顔で語ってくれました。

むめ縄作り教室

土屋 和輝

元々は、神社にしめ縄を張るのと同じく、自分の家が年神様を迎えるのにふさわしい神聖な場所であることを示すために、家にしめ縄を張ったのが始まりと云われています。



飾るのは、⑳・㉘・㉚日が一般的みたいです。㉙日（二重に苦しむ）㉛日（二夜飾りでふさわしくない）はなるべく避けたほうがいいと言われています。